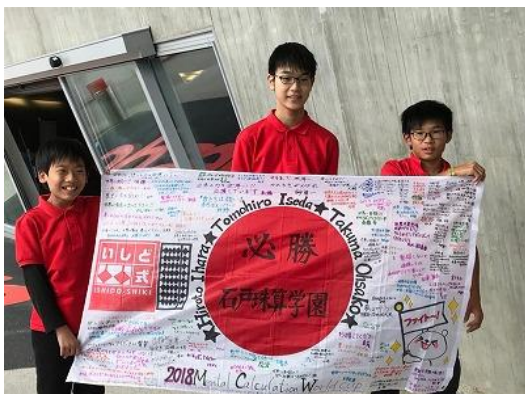


## ○石戸珠算学園の中学生が暗算世界一獲得 9/29(日)

2018暗算ワールドカップがドイツのフォルクスブルク市で9月29、30日の両日開催されました。石戸珠算学園から3名が参加し、見事に総合優勝、2位、8位に、前回に引き続き世界2連覇を成し遂げました。大会には各国の暗算自慢が参加、日本からは珠算塾式暗算を基本にして競技に臨みました。結果は世界の暗算は珠算式がすごいと脚光を浴びることになりました。



左から大迫、伊勢田、井原の3選手



表彰式後の笑顔です。

## ○ポーランド普及活動報告 10/1～11

ドイツのワールドカップ参加の後すぐにポーランドに入り普及活動に、今年は2名の先生が教師資格を取得して正式に会員登録しましたので、その応援を中心として講演セミナーを開催しました。ワルシャワ郊外の街のツェグウフ市でカロール先生、ウッジ市ではアネタ先生とともに大学や市民センター等で実施、地域の人たちにそろばん人形の良さをアピールし、生徒増加に大きな効果をあげました。また両市以外でもヴロツワフ市、クラクフ市でも実施PRに努めました。

カロール先生



アネタ先生



## ○モンゴル普及活動報告 9/2～10

今年度は年度のネルグイ先生の教室が2か所から6か所に拡大するという素晴らしい成果を果たすことができました。ダルハン市および周辺の町まで含めて指導員も5名となり充実度が高まりました。また首都のウランバートルでも新しい先生の確保と幼稚園での開設が決まりました。ネルグイ先生のバイタリティに感心です。来年2月には選手たちを引率して日本にやってきます。楽しみですね。モンゴルNo1も夢ではなくなってきました。



## ○各地で支部大会が開催

全国6支部の中で、千葉支部のなのはなカップ大会、北関東支部大会、東海支部大会、大阪支部大会、九州支部大会が開催されました。回数を重ねるごとにレベルもアップしてきています。今年2月には中国・四国支部も設立の予定です。全国連の活動がさらに飛躍の年になりそうです。

## ○「萬寶塵劫記」注解発刊

塵劫記もの三部作の三冊目「萬寶塵劫記」が今月発刊しました。前2冊より小ぶりのA5版での発行です。内容を集約してページ数も少なくなりカバンの中にも入れやすい大きさです。江戸時代の庶民の勉強したそろばん人形関連の内容をじっくりとお読みいただきたいと思います。

定価 1000円 500部限定印刷です。

## ○そろばんはじき初め開催 1/6(日)

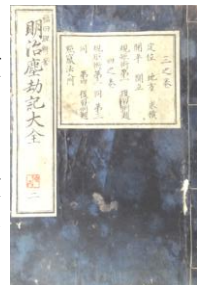
新年の始まりははじき初めから。今年も白井市の佛法寺で開催しました。昨年より100名から今年参加者が300名を超える参加で埋まりました。境内ではお餅や甘酒の振るまい、また先生方によるお茶会などいつもは静かなお寺が大賑わいでした。その後はそろばん道祖神と丸ポストのスマホラリーで白井周辺は歩く人でいっぱいになっていました。途中会場の文化センターや市役所のまちサポートセンターでの暗算世界一の伊勢田郡たちの模範演技にはみなさんびっくりしていました。そして最後は白井そろばん博物館での正月遊びでみなさん楽しんでいただきました。また入館者にはお年賀のタオルのプレゼントと大抽選会でにぎわいました。このイベントには新聞社の取材等もあり、協力していただいた近隣の方々にもおほめをいただきました。



## ○そろばん歴史街道 (21)

### 小学校で算術に珠算が採用された

300年近く続いた徳川幕府が滅びて明治時代になると世界の文明の仲間入りをするために教育改革をしなければなりません。時の政府は数学について西洋の数学＝筆算を取り入れて日本の伝統的数学の和算を廃止しました。ところが学校の洋算での教育が進展せずに、中には学校に行かないで寺子屋でそろばんを習う子供が多くなりました。そこで政府は筆算を学習するのが基本だが珠算を学習しても良いということにしました。また、珠算の近代化によりしっかりした指導書やアラビア数字を使用してそろばんをやるようになりましたのでその後、文部省でも珠算の教科書が作られ学校で正規の学習をするようになりました。



明治塵劫記大全

## 白井そろばん博物館会員入会・更新申込書

応援会員  お楽しみ会員  ふるさと会員  学生会員  子供会員 平成 年 月 日

お名前		電話番号	
勤務先(学校)		e-mail	
ご住所	〒		

1. 入会資格 小学生以上であればどなたでも入会できます。
2. 入会金 無料
3. 年会費 ○応援会員(法人会員) 10,000円 ○お楽しみ会員 5,000円  
○ふるさと会員 2,000円 ○学生会員(高校以上) 1,000円 ○子供会員 500円